

平成 25 年 12 月 26 日

各 位

株式会社東京証券取引所

平成 25 年度企業価値向上表彰に係る表彰会社の決定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄教授）の選定結果を受け、平成 25 年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞について

会社名	証券コード	業種	上場市場
丸紅株式会社	8002	卸売業	市場第一部

(2) 優秀賞について

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種	上場市場
麒麟ホールディングス株式会社	2503	食料品	市場第一部
アンリツ株式会社	6754	電気機器	市場第一部
株式会社バンダイナムコホールディングス	7832	その他製品	市場第一部
伊藤忠商事株式会社	8001	卸売業	市場第一部

2. 表彰理由について

上場会社表彰選定委員会による選定の理由は以下のとおりです。

丸紅株式会社、麒麟ホールディングス株式会社、アンリツ株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス及び伊藤忠商事株式会社のいずれもが、資本コストを上回る価値創造を行うことを目的とした「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

こうした中、丸紅株式会社（以下「同社」といいます。）は、国内外のネットワークを通じて広範な分野にわたる投資や取引を展開する総合商社という業態を踏まえた経営管理手法を採用し徹底することで、企業価値向上経営を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価された点は以下の３点です。

1. 資本コストを意識した経営指標が積極的に活用されていること

同社は、自社の株主資本コストを計測したうえで、その水準を大きく上回る 15%以上という ROE 目標を設定し、中期経営計画において公表しています。そして、その目標を達成するために、リスク対比での株主資本コストを上回る収益の追求を図る独自の経営指標である「PATRAC」や個別案件ごとに資本コストを意識して設定する 100 種類を超えるハードルレートに基づく「IRR」を活用した投資判断を着実に実行しています。このように、同社では、資本コストを意識した経営が首尾一貫して実践されていると認められました。

2. 企業価値向上の取組みが組織に深く浸透していること

同社は、投資判断基準のほか、事業の業績評価や撤退の判断においても「PATRAC」を厳格に適用しています。また、同指標に基づく業績連動報酬の仕組みも導入しており、経営層から一般社員に至るまで全役職員が対象となっています。さらに、社長自らが中堅・若手社員を含む役職員と直接対話する機会を積極的に設けて、経営目標や「PATRAC」を通じた企業価値向上経営に関する対話を行うなど、上述の経営態勢が有効に機能するための環境が醸成されており、実際に企業価値向上の取組みが組織に深く浸透していると認められました。

3. 企業価値向上の取組みとその成果に安定性が認められること

こうした取組みにより、同社の過去３年間の ROE は 18.0%、21.2%、20.7%と高い水準で安定的に維持されており、結果として、昨年度から開始した企業価値向上表彰において２年連続でファイナリストに選出されるなど、同社の企業価値向上の取組みとその成果には安定性があると認められました。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 ０３－３６６６－０１４１（代表）

電話 ０５０－３３７７－７０１２（直通）

【参考①】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての審議の観点	
1. 経営計画及び経営戦略について	－重視する経営目標において、投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。 －経営目標を達成するための事業戦略や事業態勢が構築されているか。
2. 財務戦略及び株主還元政策について	－財務戦略（新規投資、投資撤退含む）及び株主還元政策に投資者視点が含まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について	－投資者視点を意識して各種の経営情報の公表に係る判断がなされているか。
4. 企業価値向上経営の推進について	－企業価値向上を図るための経営・財務上の取組みが社内に浸透し、企業価値向上に向けた経営が全社一丸となって推進されているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について	－上記 1～4 の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

【参考②】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、資本コストをはじめとする投資者の視点を深く組み込んだ企業価値の向上を目指す経営を実践している企業を表彰するものです。本表彰の選定は、3名の有識者等で構成される「上場会社表彰選定委員会」における審議を通じて、下表のプロセスで実施されました。

本表彰の選定方法や選定経過については、東証ホームページや特設ウェブサイト(<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2013/>)でご紹介しておりますので、ご参照ください。

＜企業価値向上表彰の選定プロセス＞

実施時期	選定方法・選定プロセス	選定対象となる 上場会社数
本年 7 月	●財務数値を基にした定量的な方法による選定 <ul style="list-style-type: none">・過去数年間の ROE の平均または成長率が良好な企業 400 社を選定。・ROE によって選定した 400 社のうち、資本コスト（WACC）を上回る企業価値の創出に優れた成果をあげている 100 社を選抜。	・全上場会社 (3,400 社程度)
本年 8 月～ 10 月	●経営態勢等に係る定性的な選定 <ul style="list-style-type: none">・企業価値向上を図るための経営態勢等についてアンケート調査。・アンケートの内容などをもとに、上場会社表彰選定委員会がファイナリストを選定。麒麟ホールディングス株式会社、アンリツ株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス、伊藤忠商事株式会社及び丸紅株式会社をファイナリストとして選出。	・100 社
本日の 発表内容	●表彰会社の決定 <ul style="list-style-type: none">・上場会社表彰選定委員会がファイナリストのトップマネジメントに対してインタビューを実施。併せて投資者から意見を募集。・インタビューの結果等に基づき上場会社表彰選定委員会が審議。丸紅株式会社を大賞とし、麒麟ホールディングス株式会社、アンリツ株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス及び伊藤忠商事株式会社を優秀賞として選定。	—